

予 算 要 求 資 料

令和 3 年度 9 月補正予算 支出科目 款：農林水産業費 項：水産業費 目：水産業振興費

事業名 内水面振興施設整備事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 里川振興課 水産振興室 水産係 電話番号：058-272-1111 (内 2912)

E-mail：c11428@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 4,000 千円 (現計予算額：445,327 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支 出 金	分 担 金 負 担 金	使 用 料 手 数 料	財 産 収 入	寄 附 金	そ の 他	県 債	一 般 財 源
現 計 予 算 額	445,327	0	0	0	0	0	20,300	361,000	64,027
補 正 要 求 額	4,000	0	0	0	0	0	4,000	0	0
決 定 額	4,000	0	0	0	0	0	4,000	0	0

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

①魚道

農政部は、平成 3～14 年度に長良川流域を中心に整備された 21 箇所の魚道を所管している。これらの魚道は農業用取水堰堤等に設置されており、上流・下流で分断された河川の連続性を確保している。

県土整備部が毎年実施している魚道の機能診断(フィッシュウェイサポート事業)において、要改修の判定を受けている魚道について必要な魚道改修を実施する必要がある。

河床洗堀や流心の変化により、既設魚道の修繕だけでは魚類の遡上が見込めないため、必要な機能向上を含む改修を実施する必要がある。

河川の連続性を確保することで、魚がすみやすく、効果的な種苗放流を実施することができる環境の維持を図る。

(2) 事業内容

① 魚道の改修工事

- ・ 魚道 2 カ所の改修工事（機能向上）

(3) 県負担・補助率の考え方

- ・ 既設魚道（県所有）の修繕工事費は、県の負担で実施する必要がある。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
工事請負費	4,000	・ 魚道 2 カ所の改修工事
合計	4,000	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

魚道の整備は、世界農業遺産「清流長良川の鮎」のアクションプラン「清流を支える森・川・海のつながりの保全」に位置づけられている。

(2) 後年度の財政負担

県有施設の改修（修繕を含む）工事であることから、継続して計画的に実施する必要がある。

(3) 事業主体及びその妥当性

県有施設の改修（修繕を含む）工事であることから、県が実施することが適当である。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

毎年実施している魚道の機能診断（県土整備部所管のフィッシュウェイ・サポート事業）において要改修の判定を受けた所管魚道のうち、機能低下が著しく、速やかな改修を要する5魚道を選定した。これら5魚道について、4ヶ年計画により改修工事及び必要に応じて増設工事を実施し、機能回復と向上を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業 開始前	指標の推移		現在値	目 標	達成率
				(前々年度末時点)		
改修する魚道数	0 件 (H29)	2 件 (R1)	3 件 (R2)	2 件 (R1)	5 件 (R3)	40%

○指標を設定することができない場合の理由

（前年度の取組）

・事業の活動内容

改修を要する5魚道のうち、1魚道（累計3魚道）の改修工事を実施した。

（前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

令和2年度までに3魚道の改修工事を完了した。令和3年度に残り2魚道を改修し、必要な改修工事を完了する。

2 事業の評価と課題

（事業の評価）

・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か）

○：必要性が高い △：必要性が低い

(評価) ○	機能低下した魚道の機能回復を図ることにより、水産重要魚種（アユ、アマゴ等）の漁場拡大が図られることにより、遊漁者の増、漁獲量の増が期待される。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある	
(評価) ○	魚道改修の計画段階から地元漁協及び関係者に意見聴取し、真に求められている改修内容、方法を採用することにより事業の効率化を図っている。

(今後の課題)

河川内工事であるため、工事の実施可能期間が限られていることから、計画的な事業実施が求められる。

(次年度の方向性)

--	--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせて実施する理由や期待する効果 など	